

【学力向上フロンティアスクール用中間報告用紙】(小学校用)

都道府県名 千葉県

I 学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	茂原市立豊田小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	1	13	22
児童数	55	62	53	69	61	68	2	370	

II 研究の概要

1. 研究主題

一人一人を生かし、学ぶ力を育てる授業の創造

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

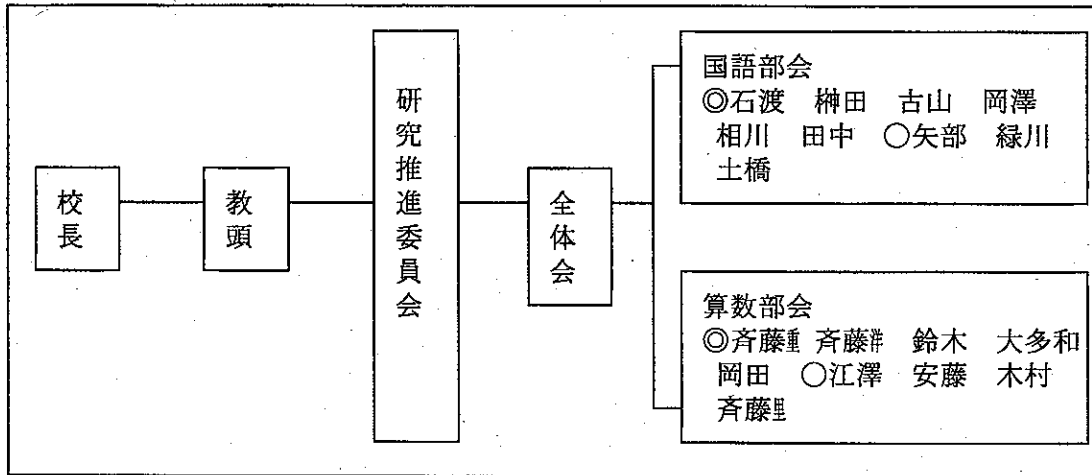
全学年・国語(すべての学習の基礎学力となる漢字の読み・書き, 言葉の使い方, 文章の読み取り等を学習し, 生きる力を培う教科であるため)
 全学年・算数(学習の基礎学力となる計算力や思考力を育て, 生きる力を培う教科であるため)

(2) 年次ごとの計画

平成15年度
 ○テーマ 一人一人を生かし、学ぶ力を育てる授業の創造
 ○研究の見通し(仮説)
 児童の実態把握や教材の分析を行い、児童が主体的に取り組む学習過程や学習形態の工夫をすれば、基礎・基本の確実な定着を図ることができるであろう。
 ○研究の内容・方法
 ①国語、算数を中心に、学習形態や学習時間を弾力的に運用した「学ぶ力」を育成するための指導計画を検討し、授業実践を通して検証する。
 ②個に対応するための教材・教具、評価表を開発し、授業の中で活用しながら、その有効性を検証する。
 ③基礎学力を培うためのたぐいを検討し、全校で実施しながら、その有効性を検証する。

平成16年度
 ○テーマ 一人一人を生かし、学ぶ力を育てる授業の創造
 ○研究の見通し
 児童の実態把握や教材の分析を行い、児童が主体的に取り組む学習過程や学習形態の工夫をすれば、基礎・基本の確実な定着を図ることができるであろう。
 ○研究の内容・方法
 ※前年度の成果と課題をもとに研究を推進する。
 ①国語、算数を中心に、学習形態や学習時間を弾力的に運用した「学ぶ力」を育成するための指導計画を検討し、授業実践を通して検証する。
 ②個に対応するための教材・教具、評価表を開発し、授業の中で活用しながら、その有効性を検証する。
 ③基礎学力を培うためのたぐいを検討し、全校で実施しながら、その有効性を検証する。
 ④授業研究会を公開し、研究の成果を地域に還元しながら研究を深める。

(3) 研究推進体制



Ⅲ 平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- 本年度は伝え合う力（表現力）に焦点を当て、研究に取り組んだ。指導計画や教材の与え方の工夫によって、相手を意識しながら自分の考えや調べたことを意欲的に表現する児童の姿が見られた。（国語部会）
- 児童の実態を把握し、指導計画を改善しながら算数的活動を通して基礎・基本の充実を図ったところ、主体的に学習に取り組む児童の姿が多く見られた。（算数部会）
- 漢字音読カードの活用と100マス計算の実施により、基礎学力（漢字の読みの力、計算力）の向上がみられた。

2. 今後の課題

- (ア) 児童が取材方法（調べ方）を身につけ、目的にあった取材（調べ学習）をしながら意欲的に表現活動ができるようにするためのてだてを考えていきたい。（国語部会）
- (イ) 個々の児童の力をつけるための指導計画の見直しを行い、一層充実するように考えていきたい。（算数部会）

Ⅳ 学力等把握のための学校としての取組

- 目的 基礎学力（漢字の読みの力と計算力）の定着の様子を調べる。
- 内容 漢字の読みの力テスト 100マス計算テスト
- 実施時期 両テストともに1学期末（7月）、2学期末（12月）

Ⅴ フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○授業研究会の開催予定 <ul style="list-style-type: none"> ・目的 研究成果を地域に還元する。 ・時期 平成16年 6月及び10月 ・場所 茂原市立豊田小学校 ・対象 長生地区の教員 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 研究成果を普及するためのHPの作成を予定している。 |
|---|---|

◇ 次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】 ■ 15年度からの新規校 □ 14年度からの継続校

【学校規模】 □ 6学級以下 □ 7～12学級
 ■ 13～18学級 □ 19～24学級
 □ 25学級以上

【指導体制】 ■ 少人数指導 ■ T. Tによる指導
 □ 一部教科担任制 □ その他

【研究教科】 ■ 国語 □ 社会 ■ 算数 □ 理科
 □ 生活 □ 音楽 □ 図画工作 □ 家庭
 □ 体育 □ その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 ■ 有 □ 無